

2021年度幹部社員研修会補講

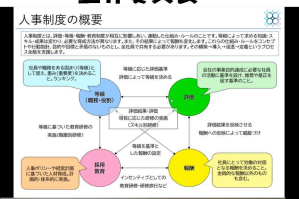
補講当日の様子



堀田先生



金井委員長



社員共育委員会では、3月4日の幹部社員研修成果発表会に向けて、12月17日にZoomで幹部社員研修の補講を開催しました。

9月に掲げた実践計画発表会から2ヶ月を経過して、現在の進捗状況の確認、半年間の実践計画期間における受講生同士の交流の場という目的のもとに行いました。

実践計画のもと、着実に実践を積み重ねている受講生、また、当初立てた計画を一から作り直し、経営者と共に新たな実践に挑もうとしている受講生、更に、外部環境・内部環境の変化の中で、目の前の仕事に追われながらも、どうすれば周りを巻き込んで課題を解決できるか悪戦苦闘しつつ取り組んでいる受講生と、それぞれ悩みながらも自社と自分自身の課題に向き合っていました。

今期の幹部社員研修は、OBの皆さんにも協力をしていただきながら進めています。幹部社員の先輩から「職場環境を改善する場合に、どうしたらすぐに結果が出るか、目に見えた変化があるかで、ハード面の改革を行いがちですが、部下と一致団結してより良い職場環境をつくるために、何を伝えればいいのか、どう意識づけをしていくのか、考え方やあり方を経営者と共有し、ソフト面を大切にしながら進めていってほしい」と、自身の経験を踏まえたアドバイスがあり、今期受講生も聞きながら聴き入っていました。

コロナ禍という有事の中では、経営者でもあっても、自社の課題を解決するためにどうすべきか、手法に捉われてしまい未来を見据えて行動するのは大変なことです。ましてや、毎日目の前の仕事に追われている幹部社員が会社の未来を描き、その道筋の中で課題を解決するために実践をしていくということは並大抵のことではありません。

幹部社員研修で掲げる『自社の課題解決のための実践計画』は、半年間の実践期間が終わる3月がゴールではありません。自社の現状に併せて、単年度で計画を立てる人もいれば、中長期で計画を立てる人もいます。

まず、計画を立て、立てた計画を実践していくことが、自社の課題解決のための第一歩です。いよいよその実践の成果を、3月4日(金)の発表会で発表します。ぜひ、奮闘する受講生の熱い発表を聴きにきてください！！

2021年度
幹部社員研修成果発表会
2022年3月4日(金)
14:00~
水戸京成ホテル

No.307号 2022年1月31日

DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会
〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館3階
Tel:029-243-8230
Fax:029-243-7225
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

第22期経営指針を創る会第8講



永岡委員長

斉藤代表

経営指針を創る会の第8講が12月20日(月)に茨城県総合福祉会館で開催されました。

第8講はZoom開催の予定でしたが、全体で集まって意見交換をしたいとの声が多数あがったため、リアル開催に変更することとなりました。

第8講は損益計算書や貸借対照表などの見方、作り方、投資の考え方など、具体的な事業展開について学びあう予定でしたが、前半の理念・10年ビジョン、現状分析に迷っている受講生も多いことから、理念・構想レベルをより深く考える時間となりました。

伊藤先生から、経営理念(理念の明文化、哲学、そこに込めた思い、物語など)、10年ビジョン(10年後のありたい姿、映像、物語、目標とする経営指標など)、中期経営計画(理念に基づき、ビジョン実現のために、自社の状況や外部環境の変化を踏まえて、どのように事業を展開していくのか?)を示したもののSWOT分析・クロス分析からのシナリオ。それを具体的な経営指標に落とし込んだもの)について、改めて具体的な説明があり、受講生の現状・進捗について意見交換が行われました。

最後の発表では、理念に立ち返る人、ビジョンがなかなか定まらない人もおり、度重なる外部環境の変化を受けて、なかなか先が見定められず苦労している様子が伺えました。

どんな環境の変化にも対応できる企業を目指して、次回はいよいよ今期の経営指針を創る会、最後の合宿となります。「経営指針書を創り上げる」という目標に向かって、熱い2日間となる予定です!



第22期
経営指針発表会
2022年3月19日(土)
10:00~
水戸京成ホテル

茨城同友会会員数 289名

1月11日理事会時点

支部	日立	県央海浜	水戸	南西	県西	ドラゴン
現会員数	34	26	109	61	27	32
2021年度支部目標	55	35	120	74	33	35

日立支部

12月1日(水) 日立地区産業支援センター・Zoom併用
『問題解決思考を鍛えるPart2』



日立支部例会は11月に引き続き問題解決思考にフォーカスしたアウトプットをメインとした例会を行いました。問題解決の構造は大きく捉えれば、『現状』と『在りたい姿』との間にある『ギャップ』を認知し、『ギャップを解消する方策を立てる』という4項目からなります。参加者全員がこれらを共有するところから始め、それぞれの会社の抱える現状等を討論しました。討論のなかで自身が『在りたい姿』と思っていたものがただの手法であったり、『問題』だと思っていたものがただの現状であったり、自身が認識していたものをアウトプットし、それに対してそれぞれの立場・経験からの問い

を受けることで独りでは認知できなかった部分に気づける場となりました。経営体験報告で得た着想をその後のグループ討論というアウトプットの場で磨き、すぐさま会社発展の糧にできるか。その礎をまた一段積み上げられた例会となりました。(レポート 菊池 剛さん)

県央海浜支部

12月23日(木) 貸室TAMARIBA
実践報告者:阿久津 隆男さん (株)ソフナーズ 代表取締役
矢内 久子さん (株)千成屋 代表取締役

『企業変革支援プログラムSTEP1
～自社の経営課題を浮き彫りにし、
経営戦略を強化、実践を進めましょう～』



今期初めてリアルで例会を開催しました。企業変革プログラムStep1を用いて、自社の置かれている状況を数値化し、何が会社にとって不得意な部分があるのかをテーマに、実践と討論を行いました。

実際に企業変革プログラムを用いて実践している会員から5年間くらいのデータを発表していただき、社長個人でおこなうだけのものと、社員がおこなうものでは真逆の数値になることや、社長の考え方や意識が変化することで数値が変化していくことがあると報告がありました。今回初めて企業変革プログラムStep1をおこなった会員は会社の現状数値をみることで、ビジョンに向けて会社組織の在り方を改善していく内容がどのグループでも出されていました。自社のことを評価し、他社から話をさせていただけるものとして、実践形式をもとに、グループ活動を行っていくのも一つの手段として行っていききたいと思います。(レポート 高村 尚志さん)

水戸支部

12月22日(水) 茨城県総合福祉会館・Zoom併用
報告者:高岡 裕子さん (有)トツカフローリスト 専務取締役

『花から華へ
～困難の数々に挑戦し、新たな華を咲かせる～』



12月例会は(有)トツカフローリストの高岡裕子さんにご報告いただきました。花屋の娘で花が嫌い。そんな報告者が1992年に家業の花屋を継ぐことに。しかし当時20代の経営者に待ち受けていたのは試練の数々。次々と出てくる壁に挑戦し続ける事で花屋としての独自のセンスを身につけました。そして華を基準に未来の自社の可能性について多角的に捉えた今後のビジョンについてもご報告いただきました。

誰に聞いてもセンスの良い華を作ってくれという報告者、華の可能性や、より良く見せるには?なぜ?を繰り返す考え、行動し、失敗しては挑戦する、可能性を広げては選択と集中を繰り返すそんな細部まで思考

する毎日の中でセンスが磨かれているのだらうと思いました。毎日を適当に過ごしてはセンスなどは磨かれません。考えることをやめずチャレンジを繰り返す日々の経験が今の高岡さんのセンスを作り上げたのだと思います。(レポート 中川 智久さん)

12月例会報告

県西支部

12月10日(金) 割烹ひさし
『2022年をあなたはどう動く?
～ちょっと教えて・現状報告・生存確認の集い～』

県西支部では、12月に久しぶりのリアル開催となる支部意見交換会を行いました。12月上旬コロナの第5波が落ち着いていることを踏まえて、割烹ひさしを会場に、感染予防を講じた上で飲食をまじえて開きました。体調不良(ヘルニア)の八巻支部長からは、声の出演で挨拶を貰いました。Zoom併用で開催し、他支部からの参加もあって、具体的な数字も交し合うなど、自社の現状をリアルに意見交換し合いました。久しぶりに顔を合わせる会員もあり、大変盛り上がりました。県西支部では、今期はなかなかリアルの例会が開催出来ず、支部会員との交流が希薄になってしまっていたため、2022年からはリアルにこだわって例会を開催していく予定です。学びあいの場としての例会、支部会員の交流がはかれる場所を作っていけるように、力を合わせていききたいと思います。(レポート 斉藤 哲生さん)

ドラゴン支部

12月8日(水) 旬の台所 連根屋
『ドラゴン支部意見交換会in旬の台所連根屋』



ドラゴン支部では、12月に「旬の台所 連根屋」を会場に、久しぶりにリアルの会合を行いました。ドラゴン支部に新しく加わった弁理士の山崎晃弘さんにも参加いただき、コロナ禍で会えなかった時間を取り戻すように、久しぶりのリアル会合は大変盛り上がりしました。連根屋さんで、佐藤マスターの美味しい料理に舌鼓を打ちながら、現状を確認し合い、コロナ禍での実践、今後の展望などを意見交換しました。

また、今回、ゲストで参加いただいた、(株)チャンスの小島慎一郎さんが入会を表明、ドラゴン支部に新しい仲間がまた増えることになりました。最後に、怪我で入院されていた佐藤栄次さんの快気祝いを行いました。佐藤さんからも、「コロナ禍で大変な時期が続きますが、同友会の仲間元気を貰いながら、頑張っていきたい」との挨拶があり、久しぶりのリアル会合は幕を閉じました。新しい仲間を迎え、2021年を締めくくることが出来ました。来期もドラゴン支部らしく活動していききたいと思います。(レポート 池田 裕児さん)

【編集後記】会員の皆さまには会報誌作成にご協力いただきありがとうございます。本年もどうぞよろしく願います。

お正月に人生初の登山in筑波山に行ってきました!「小さい子供でも登れます」のネット記事を鶴巻にし、まずは一番楽ちんコースから!と大した準備もせず意気揚々とスタート。が、5分後には息は上がり会話もままならず…こんなに辛いと思わなかった…そっか、子供って若くて元気な生き物だった(笑)それでも途中振り返って見下ろす景色は清々しく、すれ違う登山仲間もみんな優しく声を掛けてくれて。言い伝えのある岩々に触れ、神社ごとにお参りし、筑波山のパワーを全身で浴びアドレナリンも大放出。降り出した雪も幻想的で異世界にいるような感覚でした。山頂で食べるお弁当も最高ヽ(。o。)/のはずが…気が付くと一面銀世界。そう、あの大雪の日に登山していたのです(汗)ロープウェイで即刻下山となりました…。でもやっぱり頂上に立った時の達成感は格別。今年中に筑波山4ルート制覇を目指す誓い、美味しい簡単登山飯にも興味津々。私意外とアウトドア好きなのもあって新たな自分発見の年。まずは山ガールファッション一式揃えるところから始めます♪(いくつになっても見た目は大事!!)一緒に筑波山登山したい!という方、事務局にて申し込み受付中です←書類審査有(Shimo)